

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2021年 第39週（9月27日～10月3日）

今週のコメント

～手足口病～ 手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病 倍増」

第39週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,144例であり、前週比28.0%増であった。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しんの順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ2.40、1.54、0.60、0.41、0.28である。

感染性胃腸炎は前週比11%増の476例で、北河内3.12、泉州2.95、中河内2.85、堺市2.79、南河内2.63である。

手足口病は107%増の305例で、大阪市北部5.93、北河内3.96、大阪市西部1.50である。

ヘルパンギーナは65%増の119例で、大阪市北部2.64、堺市0.95、北河内0.92である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比52%増の82例で、中河内1.25、大阪市南部0.61、南河内0.56であった。

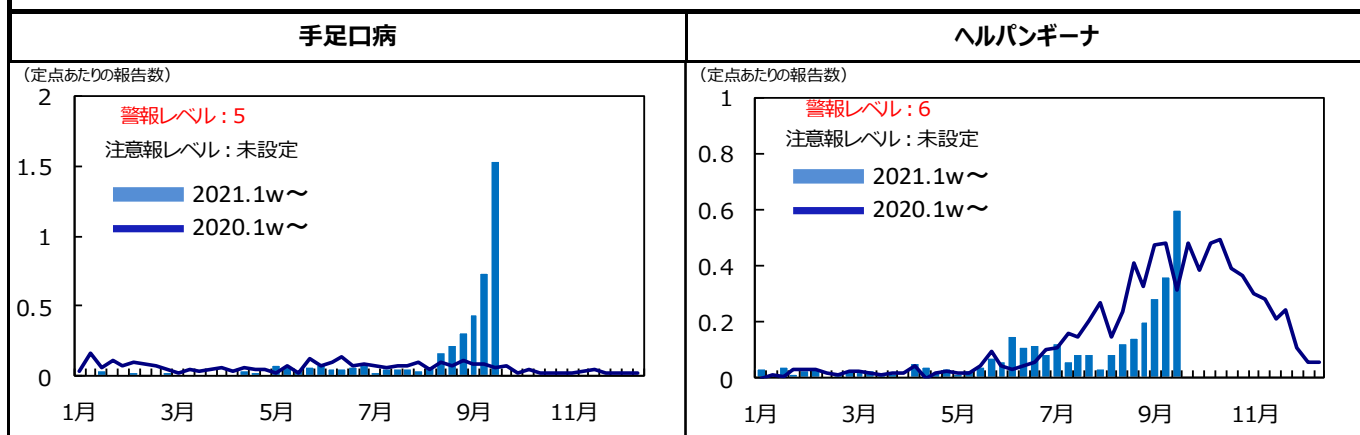


表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2021年 第39週9月27日～10月3日）

第39週の順位	第38週の順位	感染症	2021年 第39週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2020年 第39週の 定点あたり 報告数	2021年第39週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	2.40	11%増	1.61	1歳_17%
2	2	手足口病	1.54	107%増	0.06	1歳_55%
3	4	ヘルパンギーナ	0.60	65%増	0.31	1歳_42%
4	5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41	52%増	0.37	3歳_18%
5	5	突発性発しん	0.28	2%増	0.34	1歳_53%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第39週のコメント

～カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症～ 2014年9月、5類全数把握感染症となり、感染症発生動向調査では、全国で年間1,500例を超える報告があります

全数把握感染症	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	
<p>カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症は、カルバペネム系抗菌薬および広域β-ラクタム系抗菌薬に対して耐性を示す大腸菌や肺炎桿菌などの腸内細菌科細菌による感染症の総称である。広域β-ラクタム系抗菌薬以外に、他の抗菌薬にも耐性であることが多く、カルバペネム耐性遺伝子がプラスミドの伝達により複数の菌種に拡散していくことから、臨床的、疫学的に重要な薬剤耐性菌である。米国では、この10年間にCREの菌種全般の検出数は4倍に増加しており、国際的にも発生動向が注視されている。</p> <p style="color: #0070C0; text-decoration: underline;">感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)</p>	

表2. 大阪府全数報告数（2021年 第39週9月27日～10月3日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】発生動向調査>全数報告 をご覧ください。）

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	府内市町村別								府内累積報告数	
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6	1		1				1	2	1	142
4類感染症	レジオネラ症(肺炎型3例、ポンティアック型1例)	4	1					1			2	101
5類感染症	アメーバ赤痢	1									1	35
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	1		1		1				1	133
	後天性免疫不全症候群	3									3	76
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1									71
	梅毒	4	1								3	581
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1								1		19
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	1,645	2020年1月以降累計 200,114									
結核 (2021年8月分)	結核 新登録患者数：85名		(内 肺・喀痰塗抹陽性 36名) (府内累積報告数 752名、内 肺・喀痰塗抹陽性 279名)									

(2021年10月5日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

詳細はリンク先の『11月1日まで』と『11月2日以降』をご覧ください。

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2021年10月5日

(ブロック別)

第39週 2021年9月27日～2021年10月3日

定点数	ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合計	上位5疾患順位	
		豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部										
小児科		23	17	26	20	16	19	20	14	10	15	18	85	57	19	12	8	9	8	198		
眼科		5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52		
基幹		2	2	2	2	1	2	1	4				7	4	2	1	2	0	0	16		
インフルエンザ		35	25	41	31	24	29	33	20	15	22	27	132	84	29	18	13	13	13	302		
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	▼ 0	▽ 5	14	▼ 4	△ 9	△ 2	▼ 1	▽ 10	▽ 1	▽ 2	▽ 1	18	▽ 14	△ 2	▼ 1	▽ 2	▽ 0	△ 9	▼ 49		
	咽頭結膜熱	0	0	▼ 2	▽ 2	▲ 5	2	△ 2	1	▲ 2	▲ 4	▽ 2	△ 9	9	2	▽ 0	0	0	0	▽ 0	22	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▽ 1	7	12	△ 25	▲ 9	△ 6	△ 7	2	△ 2	▼ 0	▲ 11	△ 25	15	△ 6	△ 25	▽ 2	1	△ 5	△ 82	4	
	感染性胃腸炎	△ 31	41	81	57	▽ 42	△ 53	△ 59	△ 35	△ 15	18	44	176	112	△ 53	▽ 33	△ 22	△ 17	30	476	1	
	水痘	2	▽ 1	△ 3	△ 2	▽ 1	▼ 0	△ 3	▼ 0	▼ 0	▽ 1	△ 1	5	▼ 2	▼ 0	0	1	△ 1	△ 2	14		
	手足口病	△ 11	△ 3	▲ 103	▲ 22	▲ 18	△ 20	5	▲ 83	△ 15	▲ 17	△ 8	▲ 117	▲ 123	△ 20	▲ 18	2	△ 3	▲ 5	▲ 305	2	
	伝染性紅斑	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	突発性発しん	▼ 2	▽ 5	7	△ 11	△ 9	△ 2	△ 8	▽ 3	▽ 1	▽ 2	△ 5	△ 27	▽ 11	△ 2	△ 6	▽ 0	0	▼ 2	55	5	
	ヘルパンギーナ	▲ 8	2	△ 24	17	▽ 2	18	△ 1	△ 37	△ 5	▲ 4	1	△ 30	△ 47	18	10	▽ 0	△ 1	▲ 5	▲ 119	3	
	流行性耳下腺炎	1	1	△ 5	△ 2	△ 1	△ 1	▽ 0	▽ 3	1	0	0	△ 6	▽ 4	△ 1	△ 1	1	0	0	15		
把握科 定点疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	▽ 0	0	0	0	0	0	0	▽ 0	0	0	0	0	0	0	▽ 0		
	流行性角結膜炎	0	△ 1	▽ 1	0	0	0	▽ 0	▽ 0	▽ 0	△ 4	▽ 0	1	4	0	0	0	0	▽ 1	▽ 6		
合計		△ 56	66	△ 253	142	96	△ 104	△ 86	△ 174	▲ 42	52	73	△ 415	△ 341	△ 104	94	30	△ 23	△ 59	△ 1144		
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		
イ定	インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

△▽・・・前週比20%以上増減 ▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計 2021年38週(09月20日～09月26日)

1～4類 (全数把握)	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ペスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ (A/H1N1)	0
急性灰白髄炎	0
結核	145
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	0
中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	0
鳥インフルエンザ (H5N1)	0
鳥インフルエンザ (H7N9)	0
コレラ	0
細菌性赤痢	0
腸管出血性大腸菌感染症	67
腸チフス	0
パラチフス	0
E型肝炎	4
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	0
A型肝炎	2
Eキノコックス症	0
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
サル痘	0
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	2
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	0
デング熱	0
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。)	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	7
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ポツリヌス症	0
マラリア	0
野兔病	0
ライム病	0
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	35
レプトスピラ症	0
ロッキー山紅斑熱	0

5類感染症の一部 (全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	8
ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	0
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	22
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0
急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	1
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5
後天性免疫不全症候群	5
ジアルジア症	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	0
侵襲性髄膜炎菌感染症	0
侵襲性肺炎球菌感染症	5
水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)	5
先天性風しん症候群	0
梅毒	66
播種性クリプトコックス症	1
破傷風	1
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
百日咳	8
風しん	1
麻しん	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	3	0.00
R Sウイルス感染症	2398	0.76
咽頭結膜熱	280	0.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	957	0.30
感染性胃腸炎	5916	1.87
水痘	255	0.08
手足口病	3109	0.98
伝染性紅斑	31	0.01
突発性発しん	994	0.31
ヘルパンギーナ	1326	0.42
流行性耳下腺炎	138	0.04
急性出血性結膜炎	2	0.00
流行性角結膜炎	129	0.19
細菌性髄膜炎	5	0.01
無菌性髄膜炎	9	0.02
マイコプラズマ肺炎	5	0.01
クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-

定点数	報告数
インフルエンザ	4926
小児科	3158
眼科	692
基幹病院	477

8月(月報)	報告数	定点当り
性感染症・基幹定点		
性器クラミジア感染症	2560	2.61
性器ヘルペスウイルス感染症	751	0.76
尖圭コンジローマ	494	0.50
淋菌感染症	888	0.90
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1238	2.60
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	80	0.17
薬剤耐性緑膿菌感染症	18	0.04

定点数	報告数
STD	982
基幹病院	477

注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。